

## 「街のおすすめスポット」紹介 第1回

## Mirante Lúcia Almeida (ミランテ・ルシア・アウメイダ)



マナウスのダウンタウン(セントロ地区)と言えば、“治安が悪い、気の利いた店が無い、駐車場が無い”という三重苦で、一度も行ったことが無いという方も多いかと思います。今回は、マナウス・セントロ歴史地区の、そんなマイナスイメージを払拭したいマナウス市役所がウォーターフロントにオープンさせたレジャー施設、Mirante Lúcia Almeida を視察してきました。

放置され廃墟同然になっていた建物をリフォームし、利用客を呼び込んで人の流れを作り、無人地帯のような同地区に活気を取り戻そうという試みで、付近一帯の再開発を含めて総額6千万リアルをかけた観光開発プロジェクトです。このプロジェクトは、いまだ進行中であり第一弾が Mirante Lúcia Almeida で4月上旬にオープン、地上4階建てでネグロ川を望む好立地にあり、一般的に、治安が悪く危険と思われる同地区を見事に再生させたように見えます。今後、観光船の専用棧橋もオープンする予定。一部では、「市役所のプロジェクトでは継続性は期待できない」と懐疑的な見方もありますが、すでにマナウスで一定の成功を収めた有名飲食店が複数出店しており、いずれもそこそご利用客で賑わっており、この流れが続けば今後の周辺地区への波及効果も含めて期待が持てそうです。



Mirante Lúcia Almeida は、総面積 2400 m<sup>2</sup> の敷地内に建っているかなり大きな建物で、エスカレーターは無く、基本的に階段での移動となります(エレベーター有り)。

どのフロアからもネグロ河が一望できます。1階はランシヨネッチ(軽食スタンド)やバーが数軒入居、2階には民芸品販売店やイベントスペース、管理事務所、3階は今のところ2軒のレストラン、「Vinhedos Rio e Mar」(Vieiralves に本店のある魚料理店)と「Cacique Peixaria」(工業団地に本店をおくア

マゾン川の魚料理店)が営業中で、それぞれテラス席もあります。4階はカフェテリア、ハンバーガー店、ピアバーなどが出店しています。取材した時は、まだ空きスペースがあり、今後、新たに他の店も出店されオプションも増えることでしょう。建物の前にはサン・ビセンテ広場があり、修復された古い邸宅が建ちならび彩を添えています。夜には付近はとても明るくライティングされ、多くの警官が警備にあたり安全な雰囲気です。

また、客層も比較的良く、この雰囲気なら観光客も違和感なく訪れることができると思います。建物前には身障者用の駐車スペースが数台分ありますが、一般客向けの駐車場はまだありません。

この流れが付近の旧市街地区にも波及していき、歴史的建物が並ぶこの地区の再開発が進めば、マナウスの観光地として発展し続けるかもしれません。夜はライトアップされたりオネグロ大橋が見えますが、夕方に訪れてネグロ川に沈む夕日を見るのがおすすめです。



## Mirante Lúcia Almeida

所在

Av. Sete de Setembro, 8 - Centro, Manaus

営業時間

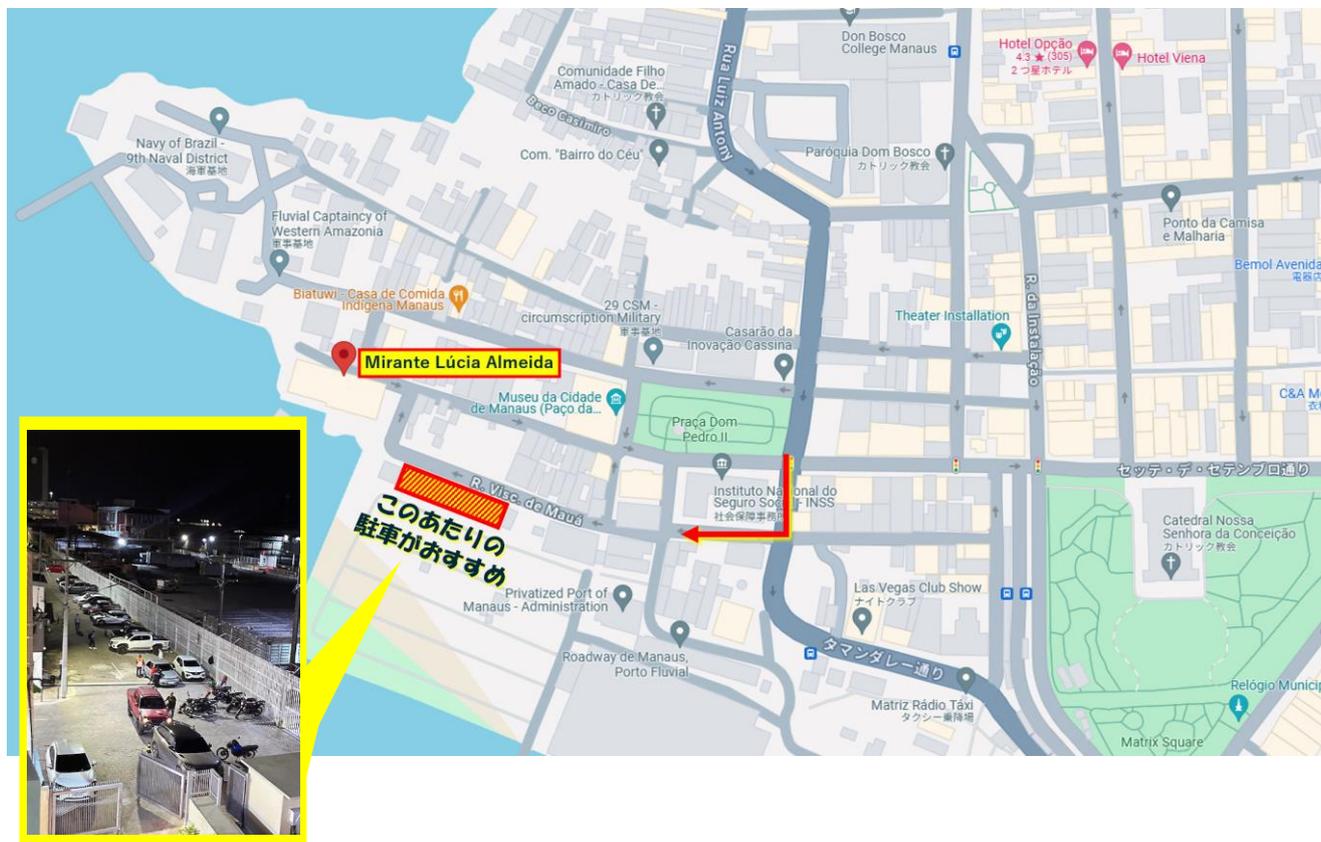
平日 10時～23時

金土 10時～0時

日曜 10時～22時

(店によって営業時間は変わります)

※今のところ駐車場はありませんが、下記の場所への路上駐車がお勧めです。



※ 本取材は 2024 年 4 月 26 日に実施されたものです。